

OUCH!

今月のトピック...

- ・ 暗号とは？
- ・ 保存データの暗号化
- ・ 通信データの暗号化

クラウドを安全に利用するには

はじめに

「クラウド」は、非常に優れたテクノロジーであり、クラウドを利用する人や企業が急増しています。一言でクラウドと言っても、いろいろな意味がありますが、クラウドサービスを利用しているとは、例えば、GOOGLE Docsで文書を作成してDROPBOXで共有したり、AMAZON CLOUDでサーバを設定したり、音楽や写真データをAPPLEのICLOUDに保存したりすることです。このように、一般的なクラウドサービスは、イン

ターネット上でサービスを提供しており、データの保存と管理を行うことができるものです。クラウドの便利なところは、複数のデバイスから利用でき、そのデバイスが世界中に分散していたとしても、常に同期されているデータへアクセスができ、そのデータを誰とでも共有できるということですが、「クラウド」と呼ばれるサービスでは利用者のデータが実際に何処に保存されているかはわからないのが一般的です。これらのオンラインサービスは非常に便利なものですが、リスクもあります。今月号では、クラウドの安全な利用方法について説明します。

ゲストエディター

ジェイムズ・タレラとケリー・タレラ (@isaudit / @kellitarala) はEnclave Security社の首席コンサルタントであり、SANSでは多数の教材を執筆しています (SANS Audit 566: Implementing and Auditing the Twenty Critical Security Controls、SANS MGT 415: A Practical Introduction to Risk Assessmentsなどがあります)。

クラウドサービスを選ぶ

クラウドは、自宅でも職場でも非常に便利なツールですが、良いところもあれば悪いところもあります。クラウドサービスを利用するということは、自分のデータを他人に預けて、預け先はそのデータを安全に保存し、自分が必要な場合に自由に利用できるということを前提としていますので、クラウドサービスを選ぶ際には、賢い選択が重要となります。職場において、業務情報をクラウドへ保存できるか否かは、上司に確認しましょう。クラウドへの保存が許可されている場合、利用できるクラウドサービスを確認して、利用時のルールやポリシーを確認しましょう。自宅での利用にあたっては、以下の点を考慮して下さい。

1. **サポート**：疑問点があるときに簡単に問い合わせできるか？問い合わせ用の電話番号やメールアドレスは公開されているか？電話やメール以外にも公開フォーラムやよくある質問 (FAQ) などが提供されているか？といった点を確認してください。
2. **操作性**：サービスの利用方法はわかりやすいか？サービスの操作性が複雑な場合、操作ミスにより意図しないデータの紛失や、第三者に公開してしまう可能性があります。使い方や設定方法がわかりやすいサービスを利用してください。

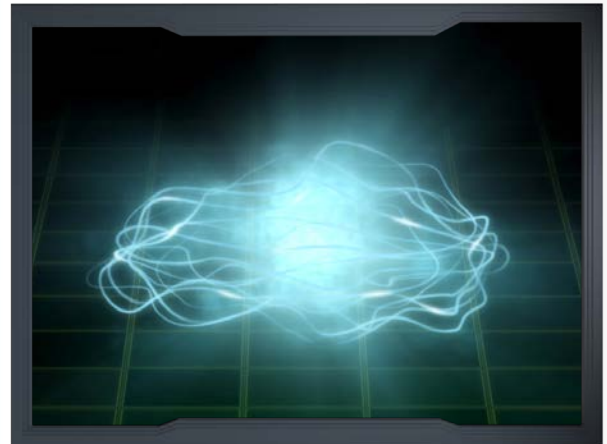
クラウドを安全に利用するには

3. **セキュリティ**：利用者のコンピュータからクラウドへの通信は安全か？暗号化されているか？クラウドに保存されているデータは安全か？暗号化されているか？暗号化されているデータを復号できるのは誰か？といった点を確認してください。
4. **約款**：約款（利用規約）を読んで理解してください。難しいと思いがちですが、通常わかりやすく書いてあります。データに誰がアクセスできるか、または利用者の法律上の権利も確認してください。

データを安全に保存する

クラウドサービスを選んだら、そのサービスを正しく安全に利用しましょう。サービスへのアクセス方法やデータの共有方法は、セキュリティ全体に影響を与えます。主に気を付ける点は以下のとおりです。

1. **認証**：クラウドのアカウントにアクセスする際には、強度のある予測されにくいパスワードを使ってください。2要素認証を利用できる場合には、その機能を有効にしてください。
2. **ファイルやフォルダの共有**：クラウドでのデータ共有はとても簡単です。場合によっては簡単すぎるとも言えるでしょう。最悪の場合、ファイルやフォルダ全体を公開フォルダ設定したことにより、インターネットから誰でもアクセスできる状態にしてしまうおそれがあります。設定の基本は、誰とも共有しないことです。そして特別に指定した人のみ、必要に応じて指定フォルダやファイルにアクセスできるようにします。アクセスする必要がなくなったら、共有の設定を削除します。また、クラウドサービスでは、ファイルやフォルダにアクセスしている人物を確認する機能を提供しているはずですが、
3. **ファイルやフォルダの共有アドレスを作成して共有する**：クラウドサービスの一般的な機能として、共有したいファイルやフォルダの共有アドレスを作成する機能があります。この機能を使って共有アドレスを他人に送信すればファイルやフォルダを共有できるようになります。便利ですが、この方法は安全とは言えません。なぜなら、共有アドレスのURLさえわかれば、誰でもファイルやフォルダにアクセスできるわけです。共有アドレスのURLを1人に送信すれば、それを受け取った人は、自由に転送できますし、GOOGLEなどの検索によって表示される場合もあります。共有する必要がなくなったら、共有を無効に設定するか、パスワードを設定してください。
4. **設定**：クラウドサービスで利用できるセキュリティの設定方法を確認してください。例えば、他人とフォルダを共有している場合、共有しているデータを承認なしで第三者と共有できるかなどを確認しましょう。
5. **アンチウイルス**：クラウドで共有しているデータにアクセスしているコンピュータには、アンチウイルスソフトの最新のバージョンが動作しているかを確認してください。共有しているファイルが1つでも感染すると、



クラウドを利用することでデータの共有やアクセスは便利になりますが、データの保存や共有をする際には、その共有方法が安全かどうか確認しましょう。

クラウドを安全に利用するには

そのファイルにアクセスしている他のコンピュータにも感染を広げてしまうおそれがあります。

6. **バックアップ**: 基本的に、クラウドサービスを提供している企業がデータをバックアップしていますが、利用者自身でも定期的にバックアップを行うことを推奨します。バックアップすることでクラウドサービスが終了した場合や、障害などによりアクセスできなくなった場合でもデータを保護することができます。また、クラウドからネットワーク経由で大量のデータを復元するよりもローカルからバックアップを復元の方が時間も節約できます。さらに、クラウドサービスのバックアップ頻度、対象ファイルの過去のバージョンの復元が可能か、バックアップの保存期間なども確認しておくといでしょう。

詳しくは

毎月発行のセキュリティウェアネスニュースレター「OUCH!」をご活用ください。また、OUCH!のアーカイブで過去のトピックも参照できます。詳しくは、SANSセキュリティウェアネスソリューションのサイトをご覧ください。

<http://www.securingthehuman.org>

日本語版翻訳チーム

日本語版翻訳 - NRIセキュアテクノロジーズ株式会社

NRIセキュアテクノロジーズは、国内最大の情報セキュリティ専門企業です。マネージドセキュリティサービス、コンサルティング、ソフトウェアソリューションの提供を通じて、情報セキュリティのあらゆる視点からお客様をサポートします。

<http://www.nri-secure.co.jp>

リソース

- 強度のあるパスワード: <http://www.securingthehuman.org/ouch/2013#may2013>
パスワードマネージャ: <http://www.securingthehuman.org/ouch/2013#october2013>
バックアップ: <http://www.securingthehuman.org/ouch/2013#september2013>
セキュリティ用語集: <http://www.securingthehuman.org/resources/security-terms>

OUCH!はSANS Securing The Human プログラムによって発行され、[Creative Commons BY-NC-ND 4.0 license](http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/)に従って配布されます。このニュースレターを再配布し、もしくは啓発資料としてご利用いただけますが、コンテンツの改変は認められません。翻訳その他に関しては、ouch@securingthehuman.org までお問合せください

Editorial Board: Bill Wyman, Walt Scrivens, Phil Hoffman, Bob Rudis

Translated By: 坂 恵理子, 関取 嘉浩



securingthehuman.org/blog



[/secrethehuman](https://www.facebook.com/secrethehuman)



[@secrethehuman](https://twitter.com/secrethehuman)



[securingthehuman.org/gplus](https://plus.google.com/securingthehuman.org)